

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 4 区分
 【発行日】平成 27 年 4 月 30 日 (2015.4.30)

【公開番号】特開 2013-136844 (P2013-136844A)
 【公開日】平成 25 年 7 月 11 日 (2013.7.11)
 【年通号数】公開・登録公報 2013-037
 【出願番号】特願 2013-46892 (P2013-46892)
 【国際特許分類】

B 2 2 F 1/00 (2006.01)

H 0 1 G 9/052 (2006.01)

【 F I 】

B 2 2 F 1/00 P

H 0 1 G 9/05 K

B 2 2 F 1/00 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 27 年 3 月 11 日 (2015.3.11)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

平均粒子径が $0.16 \sim 0.2 \mu\text{m}$ であり、かつ平均粒子径 $d (\mu\text{m})$ と真密度 $M (\text{g} / \text{cm}^3)$ と B E T 比表面積 $S (\text{m}^2 / \text{g})$ との積 ($d M S$) の値が $5.8 \sim 6.2$ の範囲内であるタングステン粉。

【請求項 2】

電解液中でタングステン粉を攪拌しながら電解酸化することにより、タングステン粉の粒子表面に酸化膜を形成させ、前記酸化膜をアルカリ水溶液で除去する工程を含む方法により製造されるものである請求項 1 に記載のタングステン粉。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0020
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0020】

球形に近い粒子の表面に形成される誘電体層は、ほぼ一様な曲率を有し、応力が集中しやすい大きな曲率で屈曲する部分がないので劣化が少ない。その結果、L C 特性がより良好なコンデンサが得られる。